

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8～9	屋根での積もった雪を竹箒で雪を落とす作業中、場所を移動するため安全帯を外したとき、一緒に作業をしていた同僚が足を滑らせ滑落しそうになったため、助けようと手を貸したところ、屋根の勾配で滑り、約4.3m下の圧雪状態の地面に同僚と一緒に背部から落下して負傷した	40	—
1	12～13	浴場改修工事の内部足場解体中に化粧梁に足をかけ、安全帯を入れ替えしようとしたところ、化粧梁の仕口が外れ落下した。	24	1～9
1	13～14	1階天井の配管作業中に、ローリングタワーにて昇降時に足を踏み外し、1m下の1階スラブ上に足から落下し、右踵に右腓骨骨折を負った。	52	1～9
1	11～12	1階地中梁コンクリートの上で、ピット内の角材をロープで引き上げ作業をするとき、親綱の準備中につまずき、反対側のピットの下にうしろ向きに転落し、その際に尻を打ち、左手をついたため左手首を骨折した。	66	1～9
1	16～17	養鶏場の鶏舎新築工事現場において、鶏舎の屋根の梁上に仮置きしていた角材（鋼製100×100）を移動させようと、高所作業車を運転し、屋根の梁の上にあがったところ、仮置き角材に足を掛けたため、角材が横すべり、バランスを崩して転落し、約6.4m下のコンクリート床に激突し負傷した。なお、保護帽・ハーネス式安全帯を着用していたが、安全帯は使用しておらず、安全帯取付箇所・防網等は設けていない。	22	—
1	16～17	防水工事を行うためルーフバルコニーに設置していた組立式の梯子（15段）を解体しようとしたところ、体勢を崩し、梯子から手が離れ、3メートル下の丸型植木鉢にはまり込むように落下し、右足踵部分を強打した。	57	10～29

1	9～ 10	2～4階水平ネット撤去作業中、両手に丸めた水平ネットを持って階段を下りている最中に持っていたネットが手摺に引っかかったのに気付かず降りたため、ネットが引っ張られバランスを崩し、1階から3段目辺りから1F床へ転倒し、左ひざを床コンクリートに強打し被災した。	43	—
1	13～ 14	外装メンテナンス工事現場にて、仮設足場の解体作業中、4段目の足場から3段目の足場へ建地を使って降りようとした際、約7mの高さから転落した。	65	—
1	18～ 19	体育館改築工事において、2Fトイレ内にて、ボード工が立馬（H=1.77）の感知バーを片面外して作業していたが、2層目のボード（14.1kg）を貼る際にボードが滑り、バランスを崩して壁と立馬の間に墜落し、左手を被災した。	47	—
1	8～9	作業（耐圧管配筋）場所のスパンの基礎梁（ビット内床面から基礎梁筋天端までの高さは1,920mm）を梯子にて3段くらい上ったところで、梯子の右側に偏って体重が掛かったため、左側フックが浮き上がり鉄筋から外れ、梯子が回転し梯子と共に回転しながら背中からビット底床面（土間コンクリート）に落ちた際に左踵と右肘を床面に打ちつけた。	35	10 ～ 29
1	11～ 12	現場内でプラスターボード貼りの作業の際、6尺の脚立足場3段目に昇りLGS地下にビスで貼っている時、ビスがなかなか入らず力を入れて押し込んだ時勢い余って前に倒れ頭から転落した。低い足場との過信から注意を怠ったことによる災害だと思われる。	78	1～ 9
1	9～ 10	浴室改修工事エリアのパウダールームで、天井軽鉄下地組立中に、脚立の2段目（H=90cm位）に鋼製足場板2枚重ねで、設置（ゴムバンド結束）した足場から、約60cm横に設置した足場に移動しようとした時に、腰袋に掛けた溶接用ケーブルが何かに引っかかり、足を踏み外して転落し、床上の溶接用ホルダーに左下腿部を強打し被災した。	45	—
1	10～ 11	内部足場を降りようとしている際、足場の踏板（幅40cm）に足をかけ損ない、手すりを掴めきれず3段目から1段目の足場踏板（幅80cm）に落下し（高さ約6m）、左肩甲骨を骨折し、左足太ももを打撲した。	28	—
	11～	新築戸建て住宅の建築工事現場にて、2階にて壁用板材を丸のこぎりで切断し、その部材を運ぼうと後ろ向きに歩いた際、床面にユニットバス用の開口があったが、		

1	12	進行方向や状況を確認しなかった為、誤って開口部に足を踏み入れてしまい、2階から1階ガレージ部に転落し、頭部及び左半身を地面で強打した。	21	—
1	9~10	スレート材の屋根上で、足場解体作業中に材料を運んでいる時に、2ヶ所ある搬入ルートのうちまだ道板養生が出来ていない方を歩き、屋根が抜けて7m下まで落下した。	20	1~9
1	21~22	施工管理業務を行っている被災者は、当日1階打ち合せ室より2階事務所へ戻る為、階段で上がっていたが、最上段から2、3段下で足を滑らせ、1階まで滑り落ちた模様（現認者無し）。事務所にいた職員が確認した時は、階段下で被災者が横向きで倒れていた。意識はあったため状況を尋ねたが、覚えていない状況であり、頭を打った可能性もあるため病院へ搬送した。	63	10~29
1	9~10	法面上での作業中、ロープと安全帯を付けて草刈り作業をしていたが、道具を取りに行く時に法面下の水平コンクリートの上を歩いて戻る時に、安全帯をはずして歩いた時に足を踏みはずして下に落ちた。	45	—
1	16~17	現場でローリングタワー足場（移動式足場）にて作業中、土間に凹凸があり、足場が横転し、作業をしていた者が落下しケガをした。	54	—
1	7~8	重機の整備中、待機している台船へ乗船時に、つまずいて高さ1m40cm~50cmの所から転落し、足の踵からの着地し左踵骨を骨折した。	38	50~99
2	11~12	当事業所鉄鋼作業所外屋の屋根の雪下ろしの作業に従事していた。スコップを使って、雪を下に落としていた時に、足が滑り、高さ2.5m位の屋根から雪と一緒に落下したものである。	50	1~9
2	11~12	当該工事現場内の廃棄物選別棟内において、型枠を建込み、型枠を固定する際にアルミ作業台を使用し、固定作業を行っていたところ突風に型枠が煽られ、型枠及びアルミ作業台と被災者が調整池下に落下してしまった。	56	—
2	9~10	足場上で外壁塗装作業中足場下棧に接触した際、下棧が外れ約9m落下した。下棧を取り付けていたブレースピンが固定されていなかった為、外れてしまったと思われる。	54	1~9

2	17~18	建設現場の片付作業中、階段で躓き転倒した。およそ2.3m程落下し、左足首を捻挫した。夕方の時間で暗くなり、視界も悪くなっていたが、早く終わらせようと急いでいた。	26	—
2	16~17	解体建物3階リビング天井材の撤去作業中、脚立中段に乗り作業していて、バランスを崩し脚立が倒れた時に左足首より地面につき左足首を被災した。落下の高さは1.5m程度であった。	33	—
2	15~16	計画新築工事にて、一階天井の梁鉄筋を組み立てる作業中、乗っていた可動式作業台より下りようとした時、誤って足を滑らせ約1.5m下に転落し左手薬指・小指、左足膝を負傷した。	44	1~ 9
2	8~9	新築工事において、2F庇の雨樋蓋を取り付けるため、2Fバルコニーから庇上に降りた際、腰袋が、壁に当たり、バランスをくずし、2Fから1Fへ飛び降りた際負傷した。	57	—
2	2~3	屋上設備機器置場にて既存室外機容量確認を行った後、設備架台から下りる際、足を滑らせ転落した。	45	50 ~ 99
2	10~11	プラットフォーム西側の監視室上で外壁材受け水きりの骨付作業を行う為外部足場から屋根上へ上がり鉄骨上部に乗り移ろうとした際、足元が滑り3.3m下の1階床上（コンクリートスラブ）へ転落し受傷した。屋根上から鉄骨上部に乗り移る際安全帯のフックを掛けていなかった。	48	1~ 9
2	17~18	工事現場で屋根を剥がす作業を終了し、下に降りようと梁のある部分をつたって移動中、木毛板と梁の間にスレート固定用の横梁の隙間があり、足を乗せた木毛板が割れ沈み込む形になったためバランスを崩し横に転倒した。ぶつかった勢いで木毛板が割れ木毛板とともにそのまま落下し、約5m下のコンテナに1度ぶつかりさらに2m程下の地面に落ち負傷した。救急車で病院に運ばれたが同日死亡した。ヘルメットは着用していた。安全帯は使用していたが、被災時は降下の移動中のため使用していなかった。	77	1~ 9
2	13~14	1階外壁部において、横胴縁を取り付け作業中に安全設備を装着せずに、既に取り付けされていた横胴縁を上っていた為、足を滑らせて約5m下に墜落した。	20	1~ 9

2	17~18	倉庫において、脚立上でマンション16号室改装工事現場で使用した材料を直していた際に、誤って足を踏み外したため脚立の天板で胸を強打した。	49	—
2	9~10	玉ねぎ乾燥施設建設工事において、足場組立作業中バランスを崩し5m下の合板上に転落した。その際、全身を強打したと思われる。すぐに病院に搬送されたが死亡に至った。	76	1~9
2	9~10	作業現場で、外部鉄骨階段の修繕を実施する事前準備をしている時に、隣接するブロック塀に足を掛けて歩を進めたところ、ブロックの天端が湿っていた為に足を滑らせ転落した。	69	1~9
2	9~10	改修工事において、作業終了後、キャットウォークから2階機械室へ昇降タラップを伝って道具を片手に持ったまま降りていた。途中で手を滑らせH1500程の高さから飛び下りたため、踵から着地し、左足踵骨折、右足を打撲した。	44	1~9
2	16~17	既存建物3回で便所内部の壁タイルを、高さ約1.5mの立ち馬に乗って、チッパーで斫り撤去作業中、機械の反動でバランスを崩し、左腕を着くように転落し被災した。	37	1~9
2	16~17	被災者は、個人宅解体工事現場（1階部分倉庫、2階部分住居）において、脚立（高さ1.6m）から降りる際、踏み外してしまい咄嗟に柱を掴んだが、解体中で柱が不安定になっていたため柱ごと倒れ着地した時に右足首を捻った。	46	—
3	17~18	資材センター敷地内に倉庫を建設中に屋根部分のパネル張りをしているとき、足を踏み外して高さ3.6mから転落した。	65	30~49
3	13~14	会社倉庫内で倉庫内の資材整理のため重さ4kgの資材入箱を棚に上げる作業の際に、上げようと脚立（3段約70cm）にのぼったとき、誤って脚立から足を踏み外し、左足首を負傷した。	36	1~9
3	13~14	1F風除室の天井作業を行うため、脚立を使用して立馬で作業を行わなければならなかったが、すぐ終わる作業と安易に考え、脚立を使用して作業していたところ、バランスを崩し倒れた脚立の上に転落した。	41	1~9
		当社駐車場において、12tトラックの荷台に積んであった足場材（アルミ製）を定		

3	9~10	位置に降ろそうと荷台に乗り作業を始めようとしたとき、誤って足場材から足を滑らせ落下し、左胸部、左腕、腰を地面に打ちつけた。	38 9	1~ 9
3	14~15	客先マンション外壁塗装のため、外部足場よりバルコニー内に進入時、手摺壁端から誤って足をすべらせバルコニー内に転落し、右膝を負傷した。	51	1~ 9
3	15~16	高さ約2.3mの場所にある鉄骨の梁の付着物を撤去するため、6尺の脚立の3段目までバールを持って上ったところ、バランスを崩して脚立から落下し、床に着地した際に右手をついて負傷した。	54 ~ 29	10 ~ 29
3	15~16	工事作業中、鉄骨材料（長さ2.7m、重さ約18kg）を2階へ担ぎ上げようとしたとき、階段の2段目を踏みはずし骨折した。	72 9	1~ 9
3	10~11	3番線旧売店他撤去工事現場において、被災者が3番線ホーム倉庫屋根を外す作業中、スレート屋根を上部より外し、屋根材を持ち鉄骨下地を歩き、開口部付近へ運ぼうとした際、鉄骨下地部分より足を踏み外し、鉄骨下地のないスレート屋根に足をのせたところ、屋根が抜け約3m下の通路へ落下し、左肩を強打し骨折した。	33 9	1~ 9
3	11~12	オーバードアスプリング巻き作業中に、ドアが上らないようにローラーの位置に合わせてバイスプライヤ等を左右の縦レールに固定すべきところ、固定するのを忘れた為、上昇してきたドアが高所作業車に真横からぶつかり、作業者が横倒しになった。作業者は、手摺に安全帯を掛けたまま倒れ、頭と腕を床に強打して負傷した。	31 ~ 29	10 ~ 29
3	22~23	工事現場で昇降式移動足場アップスターに乗って天井の点検が終了し、降りる際に足を踏み外して床に落下し、右肘と右膝を骨折した。	23 9	1~ 9
3	11~12	橋梁下部工のフーチング上で、足場組立にじゃまになる型枠金具を1.9m下にいる作業員に渡す際、木材に足をかけ滑って転落した。	46 9	1~ 9
3	10~11	メーカータンクローリー積込場で、約30kgのホースと先端フランジを持ち上げ、残液をこぼれない様に右手にホースを支え、左手で空缶へ残液処理した際、腰に激痛が発生した。	37 ~ 299	100 ~ 299
3	13~14	現場で新築工事中、カラーベスト屋根材を屋根上に貼るために作業中、左足は屋根の上で右足を足場にかけてようとしたとき、滑って2階より転落し、腰や尾てい骨な	33	1~

		ど3か所を骨折した。		9
3	16~17	外部側から内部側への安全通路で、地中梁部を越す部分に立ち馬（可搬式作業台）を設置していた。被災作業員は躯体建物のPコン埋め作業を行うため、この立ち馬を渡る際、立ち馬上を歩き、降りようとした時に躓き、そのまま体勢が崩れて地面に飛び降り、左足の踵を骨折した。	77	1~9
3	14~15	5階天井躯体補修（ハツリ）作業にて、集塵機をもつ合番者として立馬上で作業していた。天井カッター切を東西方向に切り終わり、一旦作業を止め、南北方向にカッターを入れるため、集塵ダクトの向きを変えようと立馬上で移動した際に、足を踏み外した。立馬から落ちた際に左足を捻り、倒れこんだところに置いてあったオリオン作業台に顔をぶつけ、左上まぶたを裂傷した。	65	10~29
3	13~14	現場にて家屋解体の瓦降ろしをしていた際、場所を移動するため安全帯を付け替えていたところ、屋根板が抜け落下し、右肘と右腿を負傷した。	40	10~29
3	17~18	会社加工場にて、翌日運搬予定の型枠資材をトラックに積み込む作業を行っていた。一部積み漏れた金物があったためフォークリフトのフォークにコンパネを敷き、トラック荷台の金物収納箱に手積みしようとした。トラック荷台も型枠資材の上に立ち金物を持ち上げようとコンパネに足を掛けてしまい、コンパネが滑り落ち、当人もバランスを崩し墜落した。	55	10~29
3	11~12	1~2階の階段踊り場上部にて、鉄骨梁の上でアルミ製建具の位置決め作業をしている時に、足元に置いてあったくさびを取ろうとして体の向きを変えた時、腰袋が鉄骨柱と接触しバランスを崩し、梁の上で足元が不安定になり、足場を組んでもらう親網を設けてもらう等、処置をせず転落しそうになったので、自分で飛び降り足を強打した。	62	1~9
3	10~11	鉄骨造2階建の社屋新築工事現場で休憩をとるため、2階から下へ降りようとして足を踏み外し落下し、背中を強打し、腰を痛めた。	34	10~29
		自社倉庫作業場で、現場から小型貨物自動車を持ち帰った積荷を降ろす際、後ろ向		10

3	16~17	きに移動中、バランスを崩して荷台より落下し、左手首を負傷した。	68	~ 29
3	17~18	鶏舎新築現場において、鶏舎の壁貼りの作業を足場上で行っている際、ボードの切断が必要となり左手で押さえ、右手でマーキングしようとした際、無理な体勢になり、又、雨が降ったこともあり、足場が濡れていたため足を滑らせ、足場上より墜落した。	62	10 ~ 29
3	8~9	鉄筋コンクリート造3階建ての3階で、解体及び解体材搬出作業を行っていたところ、解体材を肩にかついで移動した際に、コンクリートスラブの開口を塞いでいた鉄板の上を歩き、鉄板が重さに耐えられず抜けてしまい、2階スラブへ落下し（高さ3.2m）、腰を強打してしまった。	23	10 ~ 29
4	14~15	寺舎新築工事の際、2階躯体にて居室スラブと3階スラブの間かつ梁と壁で挟まれた狭い場所での型枠解体作業で脚立を使用して行っていたところ、型枠を脱型する際、バールを型枠とコンクリートの隙間に差し込んだ時に身体のバランスを崩して踏み外し、着地したとき右の足首をひねってしまった。	66	10 ~ 29
4	11~12	2階型枠支保工解体時、外部軒下の型枠解体材（ベニヤ）を内部側へ移動の際、ベニヤの釘がズボンに引っ掛かり体勢を崩して、反動で脚立足場（1.4m）から転落し、右膝下部を打ち負傷した。	65	1~ 9
4	9~10	建設中の自動倉庫内部でウレタン耐火コート吹付作業を行っていた。吹付作業場所を移動する為、被災者は棚11段目から棚8段目（高さ約11m）へ階段で移動した。8段目には吹付け用ホースを上げ降ろしする為の開口があり、被災者は足場上で足を踏み外し（推定）、床上へ墜落した。	64	10 ~ 29
4	14~15	各住戸の袖壁カッター入れ作業を開始し、脚立を使用しながら数か所の作業を行っていた。4尺脚立の天板に乗った際にバランスを崩して転落し、倒れているところを付近で作業をしていた作業員が発見した。	53	10 ~ 29
4	13~14	土間のコンクリート上に立ち馬を設置し、地上から2.7mの鉄骨の梁を溶断し切り落としの作業中に、切り落とした梁が立ち馬に接開し、前のめりに落下し後頭部を強打した。ヘルメットは装着していたため頭部は切り傷程度であったが、第3頸髄を損傷した。	68	10 ~ 29



4	14～ 15	現場前路上に4tダンプを止めて重機にて泥出し積み込み作業中、荷台に乗り泥を均していた。アオリが低いため泥こぼれ防止の板をキャビンに置きアオリに立っていた際、足元が危うかったのでキャビンに逃げようとして板に足を掛けたところ、重さで板が持ち上がり、その勢いで道路に左腕から転落した。	42	1～ 9
4	11～ 12	被災者はM6階で可搬式作業台を用いて耐火被覆作業に従事していた。梁の耐火被覆吹付が終了して、ホースを可搬式作業台の作業床上に置き後ろ向きで降りる際、最上段ステップから足を踏み外し転倒し、着地時に右足首を被災した。	37	～ 29
4	11～ 12	複合施設建築現場で、1階ロビーで火災報知器設置工事の下準備をして、ローリングタワーを用いて天井内の配線調査を行い、ローリングタワーを降りる際、約2mの高さから足を踏み外して床に滑り落ち、左目周囲を負傷した。	41	～ 9
4	13～ 14	営業業のため歩道を歩行中に、前方から歩行する人とすれ違う際に接触を避けようとして、建物側（左側）へ寄ったところ、歩道と段差が生じている箇所（階段部）へ転倒し、左足小指を骨折した。	57	～ 299
4	9～ 10	足場の解体作業をレッカーを使用し、ブロックで行っていた。玉掛をはずし巻き上げる時に介錯ロープが足場からみ、足場が倒れ、挟まれて負傷した。	23	—
4	14～ 15	鉄骨の梁上でガス溶断を行う為に移動中、降り積もった鉄粉で足が滑り床に墜落した。（鑄造所である為に梁の上に鉄粉が積もっていた。）	47	～ 9
4	9～ 10	倉庫・車庫新築工事において、2階の床部分で3尺間隔の桁材（150ミリ×240ミリ）に床合板（28ミリ）を配って置こうとした際桁材部分へのかかりがすくなかった為、床合板が滑って一緒に落下し、臀部を1階のコンクリートで強打し腰椎を骨折した。	35	～ 9
4	14～ 15	鉄骨造3階建の建物（一部3階）を人力にて軽量（C型鋼）を溶断完了後、脚立からバランスを崩して右脚側面から床へ転落した。	43	～ 9
4	8～9	階段室1の1F～2Fの踏面に下がりながら接着剤塗布作業中に、脚を滑らせ転落した。その際ヘルメットのアゴ紐が外れ、ヘルメットが外れた状態で頭部を強打した。	68	～ 9
				50

4	14～ 15	駐車場付近に植えてある木を伐採していたとき、二股に分かれた幹の上で作業中、倒木と二股に分かれた幹の間に右足が挟まれた。	62	～ 99
4	9～ 10	倉庫新築工事において、屋根・壁・樋等の板金工事施工のため、足場の1段目にて作業の準備中、誤って約2m下の地面に転落した。その際に頭部を打撲して急性硬膜下血腫となり、死亡した。	66	1～ 9
4	16～ 17	10tダンプの清掃中で、脚立にのり窓を拭いていた時に足を踏み外し落下し、左足小指を骨折した。	42	10 ～ 29
4	13～ 14	マンション計画新築工事の荷上げ作業中（室外機40kg）、立馬に仮置しスロープと仮設階段でロングスパンエレベーターに移動する際、重心を崩して立馬から地面に落下し、仮設階段のクランプに左足ふくらはぎをぶつけ裂傷した。	53	50 ～ 99
4	14～ 15	4尺の脚立にまたがって乗り、コンクリート柱に打ち込まれた木レンガを電動チッパーを使用して撤去作業中、体の向きをかえようとしてバランスを崩し、脚立が転倒し、約90cmの高さからコンクリート床面に左肩側から墜落した。	37	1～ 9
4	11～ 12	車庫解体工事でスレート瓦を撤去しようとハシゴを登りスレートの上に上がりスレートを剥がそうとした時に、はりの木が腐っており、スレートごと踏み抜いて背中から、転落した。なお、安全帯は使用しておらず、高さは2.5mであった。	46	1～ 9
4	10～ 11	鉄骨建方中、水平ネットの隙間が大きいことに気づき修正するため鉄骨胴縁に足を掛け、安全帯を使用せず片手で身を乗り出して作業中に、手を滑らせて転落した。	21	1～ 9
4	14～ 15	倉庫の屋根補修作業中に、被災者はプラスチック製の明かり取りの上を歩行し、明かり取りを踏み抜いて高さ5メートル程度の高さから倉庫内床面へ墜落した。	39	1～ 9
5	8～9	低層棟1階にて朝礼に参加後、地下1階の休憩所にて全体KY活動に参加するため、高層棟鉄骨階段（南側）を利用し地下1階まで駆け下りていた。その際、段差養生用仮設踏板と鉄骨階段の本設段板との間に右足を引っ掛け、階段を5段程度滑り落ち、左足首を負傷した。	52	100 ～ 299
5	11～	敷地内にて高さ3m程の植栽の枝払い作業時、7尺脚立（H1970mm）単独使用にて枝	52	10 ～

	12	を切り落とす際に、枝の反動によりバランスを崩し、脚立が倒れて転落した。		29
5	16～ 17	工事現場において、建物外部の洗浄をするため、足場の一段目に乗り、スポンジで外壁を洗浄中、足場から誤って足を踏み外し落下し、足と左肩をついて着地後、花壇に頭をぶつけ負傷した。	54	1～ 9
5	10～ 11	基礎工事中の建設現場で地中梁の配筋状況を確認中、次の場所に移動しようと思いい地盤の高さを見た時、1m以下で低く見えたのでつい飛び降りてしまい、右踵骨骨折してしまった。	62	50 ～ 99
5	13～ 14	躯体斫り工事のため、斫り工2名、相番工1名（被災者）、監視人1名で作業中、足場上より墜落したと見られる。	56	50 ～ 99
5	14～ 15	クレーンによる荷取りステージ揚重作業中、荷取りステージに長尺物の荷揚げを行う前に荷取りステージの先端手摺を外し作業を行った。長尺物の荷揚げを完了し、手摺を復旧せず作業を引き続き行った際、パレットに箱物をのせて荷揚げし箱物を荷取り後、パレットを下ろす時にパレットに玉掛けを行うには配置が悪く、相番者に少しパレットを移動するように指示を受ける。被災者は落下を防ぐ安全帯を掛けておらず、5～6歩勢いよく後ろづたいにさがり、足を踏み外しパレットと共に地上に落下した。	29	1～ 9
5	11～ 12	建物北西側の屋根大梁上で、パラペット胴縁を束柱に取付していた時にバランスを崩し、約9.4m墜落した。	45	1～ 9
5	8～9	トラックで商品を配送に行き、トラックから降ろしたカゴ台車を店内に運ぶ作業中、店のスロープ（上り勾配）を、台車を押して上がっていたところ、左ふくらはぎから激痛があり、その場で動けなくなり、左腓腹筋捻挫症、左足関節を捻挫負傷する。	59	1～ 9
5	11～ 12	工場内で棚の片付けをしている時、材料の入ったダンボールを整理していて誤って足を踏み外した。	37	1～ 9
5	15～ 16	事務所に行くため、本館建物を普通に降りている際に躓き、左足で着地した時に前方に折れ曲がり転倒した。	49	1～ 9

5	12～ 13	尿溜槽において、開口部表示がされている養生材（コンパネ、外れ止め処置済）を誤って開けてしまい、尿溜槽内へ落下した。尿溜槽内へ約50cm程度水が溜まっていたため大事には至らなかったが、落下した際に両肘をついて10針程度縫う外傷を負った。	72	30 ～ 49
5	16～ 17	リフォーム現場（予定）調査の為、3階の部屋へ行き、調査後に3階から2階へ降りる階段を2段降りたところで左足を滑らせ、右足を接地した反動で左足を振り上げ、着地の際に強打して骨折した。	53	10 ～ 29
5	8～9	製紙原料部改修工事現場において内部鉄板撤去作業準備中、鉄板と外壁スレートの隙間（約30cm）に紙くず等の可燃物が入り込んでいたため、火災予防策として鉄板（高さ約3m）に掛けた梯子に登り、水撒きを終えて梯子から降りる時に足を踏み外してバランスを崩し、高さ約1.4mから落下して腰部を負傷した。	61	1～ 9
6	11～ 12	被災者は型枠内の水洗い掃除作業中、水タンクから作業場所までホースを移動する際、途中でホースが絡まったため、立入禁止柵を乗り越えてホースを外そうとした時、誤って法肩から転落し背中を打撲した。	39	10 ～ 29
6	16～ 17	新築工事現場で、型枠組立取り付け作業中、40cm程の高さのコンクリート基礎の上から地面へ降りる際に、碎石に足を取られ、左足首を捻って両膝を地面に打ちつけた。これにより左足首と両膝を負傷したものである。	50	—
6	16～ 17	ボイラー前、幅770mmの歩廊上で、作業場確保の為、銅管を運搬移動中、ボイラー前の開口落下防止用単管パイプに足を引っ掛けて滑落した。その際、右臼蓋部骨折、右膝・右足首靭帯、右手外側を損傷した。	48	300 ～ 499
6	10～ 11	建築工事現場にて、室内ロフト部分への火災報知器取り付け作業中、ロフトへ立て掛けた脚立より降りる途中で体のバランスを崩し、更に脚立の脚が滑った際に、脚立より転落した。	40	1～ 9
6	14～ 15	勾配天井の断熱入れの作業中、天井と脚立の間で無理な体勢で作業した為、バランスを崩し床へ尻もちをつく様に落下した。	40	1～ 9
6	11～ 12	自社倉庫内で、棚等の取付作業中に、脚立の上（高さ1.5m位）からバランスを崩して落下した際、右側腰等を打撲した。	26	1～ 9

6	14~ 15	約2.5mの高さに張った養生シートに載っていたコンクリート片を、梯子に登り除去した後、降りようとした時、約1mのところで足を踏み外し、梯子から転落した。その際、地面に右手を強く着き負傷した。	62	10 ~ 29
6	15~ 16	外構ごみ置き場の外壁タイル吹付下地の補修作業中、立馬（H=1500）を使用し、外壁吹付下地の補修作業を行っていた際、移動時に足を踏み外し、右足の踵から転落した。（立馬の手摺を取り付けていなかった。）	67	1~ 9
6	8~9	2階のスラブ貼り作業にて、仮置きしたベニヤ板を釘で留める際に、バタ角の上のベニヤ板に上がったと同時にベニヤごと滑り、1階土間へ横向きに落下した。	63	30 ~ 49
6	16~ 17	安全帯をつけ、サイロの中のセメントの残量を確認するためタラップに登っている時、安全帯のフックを引っ掛けようとしたところ、雨が強くて手が滑り、バランスを崩して転落し負傷した。	34	100 ~ 299
6	9~ 10	新築工事現場において、木製パレットをユニック車のクレーンを使って積み込んだ後に、被災者が荷台上にてワイヤーの玉外し（補助）作業を行っていた際、腰を下ろした時に、お尻が荷台のアオリに接触し、バランスを崩して荷台から地面に墜落した。	73	30 ~ 49
7	8~9	資材センターにおいて、資材倉庫の屋根のスレートが壊れてしまった部分を補修するにあたり、補修工事前の写真を撮るため屋根に上がった際、誤って下地の無い部分を踏み抜いてしまい、5.4m下のコンクリート土間に落下し、腰部を強打した。	45	50 ~ 99
7	10~11	テナント内装の天井工事中、天井吊ボルトを取付中、入りが悪かったところ、吊ボルトが外れ、バランスを崩した状態で飛び降りて着地の際、床に手をつき手首を骨折した。	45	—
7	15~16	校舎2F南側窓アルミサッシ戸車交換及び外れ止め交換作業を行っていた際、腰に装着していた安全帯を使用せず作業していたため、足を滑らせ、足場上から転落。1階の窓ガラスを蹴り割り、足を負傷する。	21	1~ 9
		工場内材料置場のスレート屋根雨漏り修繕工事の作業。工事場所への通路は鉄板屋根の上を歩き、内樋の金物を掴み小波鉄板へ上る経路であった。作業について		1~

7	10~11	は内樋の中での作業完了、午前休憩（約30分）後に先に被災者が現場に向かう途中に、スレート屋根から転落した（ノーヘルメット）転落場所へはスレート屋根伝いでないと不可能である。	44	9
7	16~17	同業である協力会社へ貸与した足場仮設を回収し、資材置き場にて2tトラックより積み下ろし中に、雨で資材や荷台が濡れていたため、荷台から滑りとっさに左足で着地した際にかかとを骨折したものの。	35	1~ 9
7	13~14	H鋼を土場で積み終え確認をする作業中、H鋼の上から降りようとした際に足が滑り、約1mの高さから転落した。床に右半身を打ちつけ負傷した。その日は作業を続けたが、痛みが引かなかった。	54	10 ~ 29
7	9~10	作業現場にて地上高さ5mのスレート屋根上の作業用通路で、切断したフックボルトの清掃作業中、誤ってスレート屋根を踏み、屋根が抜けて、3m下の作業用器具の上に落下し、そのはずみで更に2m下のコンクリート地面に転落して負傷した。	73	1~ 9
7	14~15	4階躯体スラブ上で、4階型枠建込作業のため4尺脚立の2段目に乗っていたが、脚立の足元付近に墨出し用穴が、あったため脚立の足が穴にはまり、バランスを崩し左足よりスラブ上へ着地した際に被災した。	39	10 ~ 29
7	16~17	上記現場において、バールで板を外そうとした際に板が外れた勢いで下の階段内に落下し、頭や首など全身を強打したものの。	33	1~ 9
7	14~15	養生架台2枚を解体中、連結していた2枚の養生架台を切り離した際に固定されていない養生架台に移動したため天秤状態になり、養生架台から墜落した。	52	1~ 9
7	16~17	新築工事現場に於いて1階エレベーターピットの壁をピット内から高さ天板迄7段の脚立を利用して取り合い部分のカッター切後ハツリ作業を始めた直後、3段目か4段目から何らかの原因で転落し、その際に左後頭部及び右目の周りを打ち付け負傷。ピット内に少量の水溜まりが有り、濡れた靴底で脚立を使用し、作業の体勢をくずし、滑って身体のみ転落したと思われる。（脚立は倒れていない）	55	1~ 9
7	11~12	3F床コンパネ張り作業中に不注意に足を踏みはずし、根太と根太の間（約400）から2F床（コンパネ下地）に墜落し腰・背中付近を強打した。ヘルメットは、かぶっており、親綱は張ってあったが安全帯は掛けていなかった。	44	1~ 9

7	15~16	耐火壁のPB貼時に天井高上り上部を立ち馬で施工中に間仕切壁と立ち馬の間隔が開き過ぎていたため、PBを間仕切壁下地へ預ける時に、立ち馬がぐらつきバランスを失って高さ1.8mの高さから転落した。	23	1~9
7	11~12	新築工事現場において、型枠解体材をロングエレベーターにて搬出中、ロングエレベーターから荷降しをする際積み込んだ型枠材の上にあがってEVゲートを降ろそうとしたところ、ゲートのすき間に型枠材が挟まりその衝撃で型枠材が割れてその反動でバランスを崩し、型枠材の上から転落したもの。（高さ約1m70cm）	35	1~9
7	10~11	既存建物（12号棟）除去に伴う仮設養生足場6層目（H=10.5m）付近で、足場の資材を地上面に荷降ろす作業を実施していたところ、枠組足場に固定したブラケットと滑車が、荷下ろしする足場資材の重量に耐えきれず傾いた。被災者は、落下を防止しようと咄嗟に荷下ろしロープを握ったが、支えきれずに墜落した。	35	1~9
7	16~17	外壁下地作業中、外部足場から内部作業場へ移動するため、内部にある脚立（1.8m）に足を掛けた際、（脚立の天板上）バランスを崩し、転倒、足場及び地面で膝上、肩回り首を打ち、顔の右側を負傷した。	67	1~9
7	13~14	震災復旧現場で、ガラス施工のため、足場（GL+4000付近）を歩行中に、足場布板600mmから300mmに絞った隙間から転落し、強打した。	22	1~9
7	10~11	ビデ足場の垂直梯子を昇降中、低血糖により目眩がして1~2段目より地面に落下し左肩を負傷した。受傷当日受診した結果、左肩脱臼の診断により処置を受けた。業務に復帰し、定期的に通院していたが、痛みが治まらず、あらためてMRI検査を受けた結果、左肩外傷性腱板断裂の診断となった。	65	1~9
7	16~17	基礎型枠建込作業中、地中梁上から型枠材を引き上げて移動しようとした際、バランスを崩して掘削底に約2m転落し、ベース型枠に足を打ちつけ負傷した。	61	1~9
7	8~9	鉄骨造3階建て保育園増築工事で、GL+7200（作業床）まで外部足場の昇降階段を登って鉄骨塗装作業を開始直後に、足場上に墜落した。	19	1~9
7	13~14	大学研究管理棟4号棟の西面外部1階フロア部において、養生作業の事前確認のため、トップライト部を見回っていた。足場最下部にてトップライト周りを歩行中、作業床の確認のためトップライトの上に乗ったところ、トップライトが割れ、	24	30~49

		下のガラスも割れて下1階フロアまで墜落した（高さ約5m）。		
7	14～ 15	基礎外周で外部型枠解体後、地上に上がる際に昇降設備を使用せず外部足場をよじ登り、高さ1.8mから足を滑らせ右足から地面に着地し、右足踵を負傷した。	38	10 ～ 29
7	2～3	倉庫の屋根の作業していたところ、屋根のストレージが割れて落下し、右腕・右脇腹を打ちつけ受傷した（骨折）。	46	1～ 9
7	11～ 12	内装解体中、天井に張り巡らされた冷暖房用の鉄管を大型サンダーでカットしていたところ、丁度、下部にタイルが貼られていて、その上に脚立を立てて作業中にバランスを崩し、脚立が倒れ、転落し負傷した。	66	1～ 9
7	13～ 14	被災者は、同僚と4名で、1階立上りの型枠組立を行っていた。被災者が、サポートに立てる準備をして、クレーンで吊った梁型枠が柱型枠に納まるのを待っているとき、梁側の角パイプが柱型枠に当たって、梁型枠が納まらなかったため、壁型枠をよじ登って壁型枠の上から吊った梁型枠の角パイプをハンマーで叩いて、位置調整をした。その後、バランスを崩して約3.85m下の地面に墜落した。	38	1～ 9
7	11～ 12	サイロ解体作業中、電線が仕事の邪魔になるため梯子にて撤去し、下りるときに足を踏み外して落下した。その際、地面がアスファルトの土間のため、頭を打ち骨折した。	64	10 ～ 29
7	11～ 12	新築工事現場にて、外部足場の上で折板を伏せる作業中、足場板があったため移動しようと、梁に足を掛けようとして踏み外し、3.4m下の土間碎石に落下した。他に作業者が2人おり、落下の瞬間を直接は見えていなかったが、梁に掴まり落ちるところを見た。原因は、足場上の作業にもかかわらず、安全帯未着用であったこと、梁下に水平ネットがなかったこと、高齢者を高所作業に従事させる等安全対策への意識不足にある。	69	1～ 9
7	6～7	当社工場にて、車両の乗り替えをしていたとき、大型トラックの運転席に乗ろうとしてバランスを崩し、落ちてしまった。その際、右身体腰ベルトに付けていたデジタルカメラをかばい、地面とカメラの間に手首を挟み骨折した。	44	10 ～ 29
		2階南側底鉄骨上部の鉄骨梁上で、デッキ受金物の取付作業にかかるべく、被災場		



7	8~9	所で準備中に、移動のため安全帯の掛け替えを行おうとし、掛け損なって足を踏み外し、4.0m下の地面に落下した。不安全行動としては、安全帯を使用していたが、移動時に不用意に外し、足元もよく確認せず、不安定な姿勢で移動したことが考えられる。	64	1~9
7	15~16	工事現場にて、作業員がアーチング器へ降りる際、作業従事中の被災者の後ろを通過時にお互いの安全帯と工具差しが引っ掛かってしまい、それに気付かずに降りようとしたところ、被災者を押し出し、掘削底へ二人とも転落し負傷した。	25	1~9
7	10~11	2Fギャラリーにて、ガラスの取付作業時に足場とギャラリーに隙間があり、そこから何らかの理由で体勢を崩し転落した。	57	30~49
7	15~16	2F床上にて脚立を使用しての保温作業を行うときに、脚立から作業場所が離れていたため、身を乗り出して壁下地材に足を掛けた際、脚立が動いてバランスを崩し、安全帯未使用のため、身体の左肩より転落し、左鎖骨骨折、肋骨1本骨折の怪我を負った。転落の際、壁下地材を右手で掴みかけたため、右手薬指を下地材にて切創した。	31	1~9
7	13~14	仮囲いに設置している社旗・安全旗を、地面よりの高さ1.2mの中間地単管上で整備し、降りる際に左足の指が攣ったため、慌てて飛び降りた時に左足踵を負傷した。	52	10~29
7	15~16	地中梁立ち上がり部に鉄筋キャップを取付作業中、不要な部材を見つけ、取り除こうとして梁上部を横移動し、バランスを崩して背後へ落下した。下部脚立を移動せず作業足場が悪い状態で作業していた。	54	50~99
7	17~18	新築工事中、鉄骨上で屋根葺き下地タイトフレームの墨出し作業をしていたところ、屋根水下の鉄筋上からバランスを崩し、ネットに落ちた。その反動でネットを結んでいたPPロープが切れ、約7m下の既存アスファルト舗装面に墜落した。	41	1~9
7	9~10	発電所構内の灰捨場A資材置場において、バーナー弁ラックの荷卸し作業を行っていた。1台目を玉掛け作業で荷卸しし、2台目を荷卸し作業中、隣の3台目の荷が倒れ、この荷より安全帯を取っていた作業員が、引きずられて荷台上より転落し（高さ1.4m）、負傷した。	47	30~49

7	11～ 12	新築アパート（2階建て4世帯分）の屋根の建て方作業中、母屋・小屋束の木材を配布していた際、足場が不安定な箇所（建て方作業途中の仮置きしている角材部分）に足をのせたため、約3mの高さからアパート2階床に転落し、前胸部・左関節部を打撲し、かつ左足関節を捻挫し負傷した。	24	10 ～ 29
7	16～ 17	3階スラブ面から高さ9.9mの場所で、クサビ式足場の組立て作業をしていたとき、手摺部材をジョイントする部分に上手くはめ込めなため、2人掛かりで両端を合せて押し込んだときに、被災者が体勢を崩して下のコンクリートスラブに転落し負傷した。	38	10 ～ 29
9	13～ 14	受水槽内の壁防水モルタル塗りの作業中、高さ1.0mのウマ上からバランスを崩し後ろ向きに落ち、左腰を土間コンクリートに打った。	71	1～ 9
9	15～ 16	外壁貼り方施行中に足場を横に移動している時雨の為、足場が濡れていて足を滑らせ建物と足場の隙間より落下した。落下時、右肩より落ちた為左肩の打撲と後頭部を打撲した。	68	10 ～ 29
9	16～ 17	アルバイトなので二階には上がらないよう指導していたが、まわりの気付かないうちに二階に上がり木材を運んでいた。そしてバックして、転落した。	70	1～ 9
9	8～9	トラックに材料を積み、コンビニに停車中材料の確認のため、荷台に登ってパイプなどの数を確認している時に、足を踏み外してしまい、パイプなどと一緒に転落、左腕を骨折した。。	21	10 ～ 29
9	15～ 16	建築現場にて、コンクリート打設作業を終了後、コンクリート圧送ポンプ車の配管ホースを梯子の上から4段目ぐらいで留まり清掃作業を行った、作業中、突然配管ホースが暴れ、片手でホースを掴みにかかったところ、はじかれ高さ1.8mから落下した。災害の原因は、梯子上で作業してしまったことと、ホース清掃にあたり、十分な給水を怠り、ホース内にエアータまり、不動な動きを引き起こしたものである。	67	1～ 9
9	9～ 10	被災者は、午前中に搬出車輛（4t車）荷台上で型枠材（単管3.5m×50本）1束を積込中、積込位置を調整するため、玉掛者がタワークレーンに合図を行い揚重したところ、補助員として手伝っていた被災者側へ吊り荷が振れたので、手で荷を押さえ	46	1～ 9

		たが耐えきれず、荷台上の型枠パネル上かわ（荷台上0.8m）から、後向きの状態で約1.8m下の地面に飛び降りて被災した。（トラック荷台の高さ1.05m）		
9	10～ 11	約2メートルの高さの仮囲い上でつなぎの補強をしようとしていたところ足を滑らせて転倒・転落して、斜めのパイプに背中と左脇腹あたりを強打。資材置場でのケガである、資材置場の移転に伴い、仮囲いを設置中に被災した。安全帯は腰に巻いていたが、使用はしていなかった。	39	1～ 9
9	15～ 16	上記日時、2階でウレタンを削る作業中、周囲を確認せず移動した際に足元のユニット開口部に気付かず、開口部から1階天井組まで右肩から落ちた後、天井組から1階床に落下し（2階開口部から1階まで2m50cm程度）、肩と首を打撲、右目まぶたが腫れる怪我を負ったものである。	35	10 ～ 29
9	10～ 11	アパートで現場調査をしている時、ハシゴをかついで階段を下りた際、足を踏み外して腰を痛めた。	34	1～ 9
9	14～ 15	第三貨物地内において、梁の上での水中ポンプ設置作業中、梁をまたごうとした時、ドラム（直径30cm重さ約5kg）が鉄筋にひっかかり落下し、膝を強打する。	30	10 ～ 29
9	8～9	基礎地中果で型枠建込み、固め作業中、高さ1.3m程度からハシゴにて降りる際、地足場用建地単管に手を掛けたところ手がすべり体勢を崩した、ハシゴを2段ほど踏み外し転倒、ベースの土留用の単管に腹部があたり負傷した。	65	10 ～ 29
9	10～ 11	倉庫内で、トラックでの作業員、荷台にあるカゴを降ろそうとして、荷台にのぼろうとした時、つかんだつもりの手掛りをつかみそこねて転倒、その時、同時に左手を地面についてしまい、負傷、左手首を骨折したのを気付かずに痛みをがまんしていたが、次の日、骨折と診断された。	52	—
9	13～ 14	外壁改修工事現場で、ダンプ（2t）の荷台の上で、土納袋の入ったガラを積み込み、袋からガラを取り出す作業中、足元の安全な確保が不十分であったため、勢いが余って荷台から転落し、頭部を地面に打ちつけてしまった。	87	1～ 9
	15～	児童福祉施設の建築工事現場で建物2階の屋根の長さを足場（地上より8mの高さ）に上がって測っていて方向転換したとき、足をふみはずし4m下の2階のコンクリー		1～

9	16	ト床にからだの右側から落下、負傷した。足場板（杉材）30巾4mを4本かけていた、ヘルメットは着用していたが、移動しないといけないので安全帯は着けていなかった。	70	9
9	15～ 16	鉄筋コンクリート造3階建ての建築現場にて1階躯体コンクリート打設後、型枠解体工によるベニヤ金物等の解体作業を行う為、小部屋を脚立による作業中、金物を外そうとしたところ転落し、左多発骨骨折、外傷性血気胸、骨盤骨折、腰椎横突起骨折、左鎖骨骨折した。	70	30 ～ 49
10	14～ 15	元請現場、宿舎新築工事で壁面タイル貼り作業をするため、ビケ足場の1段目天板（高さ180cm程度）に上がり、立ち上がろうとしたところ、頭が2段目の手摺りにぶつかり、そのまま転倒転落し、頸部を負傷したもの。	69	1～ 9
10	15～ 16	CD棟2階へ北側外部足場から移動し、渡り通路から2階屋上へ移動しようとした際、昇降階段最下段を踏み外し、左足踵から着地した。被災時は、電気が走った程度で痛みがなかった。通常勤務を行っていたが、徐々に痛みが増してきた。	59	10 ～ 29
10	10～ 11	被災者がロッドを繋ぐ為、地上4.3mの高さで安全ブロックを装着し、止まっている振れ止めに足をかけて作業を行っていたところ、杭打機オペレーターの誤作動で1.5m振れ止めが落下した。作業箇所から19m上で安全ブロックのワイヤーが何かにつかかったのと、被災者が落ちた衝撃とで、安全ブロックのワイヤーが切れ、被災者は振れ止めの肩に尻もちをつく形になってしまい、臀部挫創してしまった。	27	1～ 9
10	13～ 14	午前中より検査業務で作業を行っていた。午後、天井部のチェック項目にテープマークを貼る為、高さ約40cmの踏台に乗ったところ、立ちくらみを起こして転倒した。その後、作業を継続し帰宅、帰宅途中の電車内で気分が悪くなった。	25	1～ 9
10	11～ 12	本人はリングシャッターの型枠建込作業において締固め材料（チェーン）を持って仮設通路上（鋼製足場板3枚敷）を歩行していたところ通路端部で滑り、左足を踏み外して約1.0m下の掘削法面部に転落し左膝を損傷した。	48	1～ 9
10	14～ 15	被災者は、杭のコンクリート打設中、ミキサー車を誘導するため、3尺の立馬から降りようとした。後ろ向きに降りようとした時に1段目のステップ（高さ600）で足を滑らせて転落した。その際、地面の敷き鉄板に左肩を打ち付けて負傷したものの。	44	1～ 9

10	15～ 16	解体工事を請け負い、2階のベランダからダンプに積み荷を紐で吊るし下ろしている際、紐が体に絡まり、高さ2メートルから落下。落下した際、腰を強打してしまい、その反動で上半身、首を捻ってしまい負傷。	63	1～ 9
10	14～ 15	足場資材置場の片付け中パイプを持ちながらカゴを乗り越え移動しようとした際、カゴとカゴの間隙の溝に気づかず足を踏み外し、肘・膝・胸をカゴに強打した。作業を中止し損傷部を冷やし帰宅したが痛みが引かなかった。	25	10～ 29
10	15～ 16	被災者は、3階にて同僚とファブデッキの仮敷き作業に従事していた。休憩を取るため、被災者が他の同僚よりも先に休憩所に向かった。小梁を渡っているところまでは、同僚2名は目撃していた。2名が目を離していた時に「アッ」という声を聞き、同僚2名で確認に行ったところ、被災者は1階の地面に倒れていた。（墜落時の現認者はいない。）	34	10～ 29
10	10～ 11	上階より道具を降ろす為、梯子を使って道具を持って降りようとして転落し、背骨を骨折した。	44	1～ 9
10	11～ 12	鉄骨造2階建て、児童福祉施設の建設工事現場で、2階梁の上に仮置きされた鉄骨胴縁材の仕分け作業中に、被災者が一番上に重ねられた胴縁材を手前にずらした際、材料が滑り落下した。滑り落ちた胴縁材に付いていた取り付け用アングルが、被災者の足首に引っ掛かり、バランスを崩した被災者自身も、1階床面（約3.3m下）へ背中から落下した。この時被災者は安全帯を使用していなかった。	28	10～ 29
10	8～9	被災者はデッキ受けの桟木取付作業の為、1階からピットへ昇降用梯子で降りる際、ピットまでの高さ約1.8mのところ足が滑りピット底版へ足をついた。両足で着地した後、尻をつき転倒被災した。	62	1～ 9
10	10～ 11	町営住宅改修工事にて、足場組み立て作業中に、南面足場の5層目の床の無い開口部から地面に落下した。	30	10～ 29
10	10～ 11	一般住宅の作業中、1Fの平らな場所で、古いシャッターサッシ枠の交換作業をしている時に、シャッター本体が外れにくく2人で作業をしていたが、片方だけ外れてその反動で自分が脚立から落ちて右足の踵を骨折した。	60	1～ 9

10	8～9	社屋新築工事現場にて、電気工事として弱電用引き込み工事のため足場上で作業した。それを終え、足場から降りる際、不注意により脚立で足を滑らせ、約3mの高さより落下した。	49	1～9
10	11～12	作業所内PCマリオン用作業床から立馬に乗り移る際に立馬が転倒し、右手首を地面と体で挟むようにして転倒。PCマリオン用作業床から立馬へと飛び移るように乗り移った事が災害発生の原因と考えられる。	44	30～49
10	16～17	型枠材（パネル）を倉庫から第二倉庫へ移動するために3tユニックに積み込みをし、荷崩れ防止用の帯を掛けている最中に、積み荷の材料（高さ≒4.0m）の上から転落し被災する。	44	1～9
10	10～11	RC、SRC道16階建て耐震改修工事現場に於いて、トラッククレーンで解体材をワイヤーモッコで10tダンプに荷降ろしするため、10tダンプのタラップからコボレーン越しに荷台に飛び降りた。その際、足元のバランスを崩して転倒し、左足踵を強打した。	50	30～49
10	17～18	自社工場内で鉄骨部材の整備中、仮置きされたH鋼の上を歩行移動中、足を滑べらせ転倒。H鋼とH鋼の間に転落し、右肩と右脇腹を強打し負傷。	49	1～9
10	9～10	非常発電機室のアルミテック敷設工事においてラックの高さを出すため、非常用発電機上部に3脚式レーザーを設置する前の作業時、脚立の3段目で足を滑らせバランスを崩し転落し両手をついた際に怪我をした。	47	10～29
10	1～2	2階改築工事の現場にて資材（銅線）搬入時、内部の塗装工事をしていたため、1階の玄関屋根から2階部屋の窓へ資材を搬入した。1階玄関屋根にビニールが敷かれていたため、足を滑らせその際、ジャンプして着地しようとしたが左足に体重がかかり踵を負傷した。	47	1～9
10	14～15	高さ約2.5メートル付近で重機のリーダー部分の解体作業中にパイプレンヂでボルトナットを取り外している際、勢いあまって転落し、右手首を骨折した。	36	1～9
11	17～18	5階から屋上に上がる階段部分の壁型枠建込作業にて、脚立から降りる際にバランスを崩し、足元のベニヤが階段のため斜めになっていたため足を滑らせ、右足首を負傷した。	48	—

11	14～ 15	被災者は、営業で訪問先へ向かう際、訪問先が地下だった為、1階から地下へ下りる階段（12段程）を降りている途中で7段目の所で足を滑らせてしまい下まで転落した。	57	100～ 299
11	15～ 16	足場近接部にて生コン打設中に少しでも近道をしようとして、1m程度離れている足場同士を渡る際に足場間のスペースを落下し、その際に右側の胸・腕・顔を足場の構成板に打ちつけ打撲及び肋骨を骨折した。	58	1～ 9
11	11～ 12	被災者は外掘棟B2F基礎建込み作業に従事していた。地上からの昇降階段で耐圧版上に降り、別の昇降階段からB2F床上へ昇ろうとしたところ、右足を捻った状態でコンクリート床面に着地し被災した。整形外科に向かったが、専門医が不在の為、整形外科にて救急車を要請し、別の医療機関へ救急車にて搬送した。診察、レントゲンの結果、「右大腿骨骨折」、入院の為、搬送された。	21	10～ 29
11	16～ 17	外部足場組立において、手渡しによる足場材荷上げの作業を行っており、被災者は6段目で中継ぎ作業をしていた。荷上げの為、作業場所の足場板2枚敷きのうち、1枚を外し作業をしていた最中にバランスを崩し転落した。	26	1～ 9
11	9～ 10	建設現場において枠組足場1段目（高さ20m）に立ち、梁にドリフトピンを打ち込む作業をしていた際足を滑らせ、尻を足場板にぶつけ、基礎コンクリート部から鉄筋が突き出している場所に転落し、太ももに鉄筋が刺さり受傷した。作業中、安全帯を腰に付けていたが、使用していなかった。	66	1～ 9
11	8～9	コンクリート打設作業中に次の場所へ移動しようとして地中梁配筋の上を歩いていたら、バランスを崩して約1800mm下の捨てコンクリート上に飛び降りて、右足踵を骨折した。	59	30～ 49
11	11～ 12	2階トイレの配管の為墨出し、床あげ作業をする際、3～4kg程度の道具袋を肩に掛け、片手で梯子を掴みながら3段目に足が来たところ道具袋の重みでバランスを崩し、転落してしまった。左足踵で全重量を支えた為、骨折した。	66	1～ 9
11	10～ 11	RC造5階建の事務所ビル建設工事現場の5階部分で脚立足場上で型枠解体作業中、バランスを崩して足場から約1.5m下の床面に転落し、右足かかとを骨折した。	36	10～ 29

11	16～ 17	事務所東側外階段で、シュレッダーしたゴミの袋（45L）を事務所の外の収集場所へ運ぶため、両手でゴミ袋を持ち2階から1階へ階段を下りる際、ゴミ袋によって足元が見えづらく、階段の下から3段目を踏み外してコンクリートの地面へ落ちて、両足首を負傷した。	35	—
11	13～ 14	土場作業場にて、事業主の指示の下、コンクリートポンプ車の荷台（高さ2m）に乗りブームのグリスアップをしていた際、足を滑らせてしまい落下した。足がもつれ、受け身が取れず地面に落下したため、腰を強打し負傷した。	24	1～ 9
11	16～ 17	工場改築工事現場において、屋根タイトフレーム作業終了後、足場板を撤去中バランスを崩して梁から転落し頭部を強打する。	45	1～ 9
11	9～ 10	かやぶき屋根のかぶせのトタンの鼻先を取り替える為に、下屋の瓦屋根の上で作業をしていて、滑らない様瓦の上に2m角位のシートを貼ったが、そのシートの上に乗った時、滑って地面に落ちた。右足の太ももの所の骨を骨折した。	66	1～ 9
11	15～ 16	建設工事現場にて、建物の玄関上の庇のケレンをしようと2階の窓越しに庇の上に降りようとして、途中に突起している約1200mm下のボーダーに足をかけ、その下の庇まで約600mmを降りようとした際、足を踏み外して、庇の正面越しに落下し、負傷した。	23	10 ～ 29
11	16～ 17	天井スラブに埋まって外れない木目地棒を、4尺脚立の2段目に跨いで乗り電気チッパーで除去作業中、除去する目地棒の位置が変わっても脚立の位置を変えずに不安定な体勢で作業を継続した為、バランスを崩して電気チッパーを右手に持ったまま転倒し、右肘を床コンクリートに強打した。	51	1～ 9
11	16～ 17	塗装作業中、足場の上から足を滑らせして落下した。その後、左手首に全体重がかかり骨折した。	21	1～ 9
11	10～ 11	消防団分団立て替え工事西側フラットパネル下にて、杭養生の単管建地設置の為、幅1m程度、高さ2.7m程度の泥コンクリートの上を移動していた。この時根ガラの跨ぎにくい所を控えの外側から移動しようとした時に、次に使用する為に仮置きしていた単管を固定している部材と誤認して掴み、姿勢を崩して腰から落下し、腰上背骨に全治28日の圧迫骨折という怪我を負う災害が発生した。	50	10 ～ 29



11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、肋骨を骨折した。	69	1～ 9
11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、左肘を骨折した。	59	1～ 9
11	14～ 15	工事現場にて階段中央の壁を組むために道板を、足場に脚立を使用し、十字に組み作業していた。作業が終わり上から道板を除けようとした際に、中央壁の型枠敷ばたに片足を置きコンクリートの手摺り壁にもう片足を置こうとしたところ、踏み外し1.5m程の高さから転落した。	47	10 ～ 29
11	11～ 12	倉庫建築現場で鉄骨骨組みの取り付けのため、鉄骨の梁に梯子をかけてボルトを締めつけていて、梯子ごと横に倒れて両足の踵を負傷した。	69	1～ 9
11	14～ 15	屋根瓦棧を撤去作業中に移動しようとした時、足を滑らせ足場鋼管の手摺り部分に額が当たり、約3m下の畑に落下負傷した。	61	1～ 9
11	13～ 14	牛舎の鉄鋼建築で屋根張り作業中、上段から下段まで雨が降って濡れていたため滑りバランスを崩して（2m位）そこから地面（2m位）の所まで落下し、地面も滑り易くなっていたため足の踵をつきそのまま滑り、右足の踵付近を損傷し立位保持が困難となった。	33	1～ 9
11	16～ 17	新築工事現場において、被災者が、高さ約2m上の足場にて階段壁の鉄筋組作業中、足場の板がずれ階段上に転落し、左膝、左腰部、左肘を強打し打撲を負った。（当初は、大したことはないと思い、受診しなかったが痛みが増し受診した。）	48	1～ 9
12	15～16	鉄骨造2階建ての工場建設工事現場で、鉄骨鳶が鉄骨建方中、水平ネットを手繰り寄せている作業中、2階鉄骨梁上から転落し、頸椎・胸椎を打ち骨折した。	34	10 ～ 29
12	11～12	工場③棟耐震補強工事の現場において、基礎工事の穴の埋め戻し作業中、穴とバリケードの間のスペースを歩いていたところ、足元の土砂が滑り、そのまま2.5mの深さの穴の中へ転落した。転落した時、玉石に左膝をぶつけてしまった。	74	10 ～ 29
12	9～10	2階廊下アスロック上にて、外壁調整上部補佐作業に於いて（下に1名の計2名）、外壁パネル上部を調整中、横に移動した際に、被災箇所（足場板2枚仮置・開口部	77	1～ 9

		水平ネットなし) 足場板2枚仮置きの際間より、1階廊下土間上に転落した。		
12	10~11	鉄筋5階建新築工事で、5階型枠解体中、5階床から4階に通じる吹き抜けスラブ面より2.4m下の4階のスラブ面に足を踏み外して、左側肩より落下し、左側鎖骨及び肋骨6本を骨折した。(本人は事故前後の記憶がないと証言している。)	68	1~ 9
12	14~15	新築工事にて、梁下端につけた耐力壁の下地が割れ、交換のため6尺の脚立にのり、釘を抜いていた。その際、バールが釘から外れ、体勢を崩し後ろに転倒した。左手をついたが受け止めきれず、そのまま左手首を骨折した。	23	10 ~ 29
12	8~9	スタンド建設工事、現場内外部足場西面にて、足場3層目(立入禁止範囲)で鉄骨材料の荷揚作業を行っており、作業が終わり、移動しようとして後退した。後ろに下がった部分の足場板が外されたままの状態になっており、そこで足を踏み外し、2層目の足場へ転落し、上半身を打った。	61	1~ 9
12	8~9	外壁改修工事に使用する足場資材を、資材置き場にて積み込み作業中、棚の上の資材を取り出すとき、脚立から後ろに落ちて右手を下につき、負傷した。	42	1~ 9
12	13~14	2階廊下にて、非常照明を交換する際に、4尺の脚立の3段目から降りようとしたとき、右足を滑らせ脚立から転落し、左肘を脱臼した。	34	1~ 9
12	11~12	業務中、客先事務所から出る際に、事務所建物2階から1階へ階段を下りているときに、あと5段程度の所から転落し、右足を骨折した。持病で左足に不自由があるため、平素より松葉杖を使用して歩行していた。松葉杖が階段でつかえ、前のめりになり、バランスを崩して転落した。	46	30 ~ 49
12	9~10	2階特殊浴室壁のブロック積み作業中に、頭上の配管に頭をぶつけた拍子に、高さ1.8mの脚立の足場から転落した。	57	1~ 9
12	8~9	外部足場上で、2階部分の建物外壁タイル張り作業の準備中、足場と壁面の間隔が広がったと思われ、自分でブラケットを取り付け(3ヶ所)、その上に道板を通し、固定せずに道板に乗ったところ、端部のブラケットに道板が掛かっておらず、移動したときに不安定になり、道板と共に腰から落下し、腰椎を破裂骨折した(安全帯未使用)。	63	1~ 9
		店舗新築工事現場内で、外部足場の養生作業をするためシートを運んでいるとき、		10

約4mの高さの足場開口部（筋交いのない作業床）から転落して被災した。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)